

令和3年度下呂市水道事業会計補正予算（第3号）

第1条 令和3年度下呂市水道事業会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第2条 令和3年度下呂市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

(科 目)	支 出		
	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第1款 水道事業費用	1,241,209 千円	6,046 千円	1,247,255 千円
第1項 営業費用	1,167,250 千円	6,046 千円	1,173,296 千円

第3条 予算第4条本文括弧書中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 211,504 千円は、当年度及び過年度の損益勘定留保資金 193,258 千円及び消費税資本的収支調整額 18,246 千円で補てんするものとする。」を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 217,388 千円は、当年度及び過年度の損益勘定留保資金 198,182 千円及び消費税資本的収支調整額 19,206 千円で補てんするものとする。」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科 目)	収 入		
	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第1款 資本的収入	359,042 千円	4,677 千円	363,719 千円
第2項 負担金	343,762 千円	1,000 千円	344,762 千円
第4項 補助金	0 千円	3,677 千円	3,677 千円

(科目)	支出 (既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第1款 資本の支出	570,546 千円	10,561 千円	581,107 千円
第1項 建設改良費	195,399 千円	10,561 千円	205,960 千円

令和3年9月2日提出

下呂市長 山内 登

令和3年度 下呂市水道事業会計補正予算実施計画

収益的收入及び支出

支 出

(単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1. 水道事業費用			1,241,209	6,046	1,247,255	
	1. 営業費用		1,167,250	6,046	1,173,296	
		1. 原水及び浄水費	260,827	6,046	266,873	

令和3年度 下呂市水道事業会計補正予算実施計画

資本的收入及び支出

収 入

(単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1. 資本的收入			359,042	4,677	363,719	
	2. 負 担 金		343,762	1,000	344,762	
		1. 負 担 金	343,762	1,000	344,762	
	4. 補 助 金		0	3,677	3,677	
		2. 県費補助金	0	3,677	3,677	

支 出

(単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1. 資本の支出			570,546	10,561	581,107	
	1. 建設改良費		195,399	10,561	205,960	
		1. 改 良 費	194,749	10,561	205,310	

令和3年度 下呂市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー:	
当年度純利益	△ 341,953
減価償却費	611,126
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 92
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 17
長期前受金戻入額	△ 208,371
受取利息及び受取配当金	△ 608
支払利息	55,439
資産減耗費	350
未収金の増減額(△は増加)	10,407
たな卸資産の増減額(△は増加)	200
未払金の増減額(△は減少)	△ 24,154
小計	102,327
利息及び配当金の受取額	608
利息の支払額	△ 55,439
業務活動によるキャッシュ・フロー	47,496
II 投資活動によるキャッシュ・フロー:	
有形固定資産の取得による支出	△ 187,252
その他補助金等による収入	3,677
工事負担金の受入による収入	16,527
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 167,048
III 財務活動によるキャッシュ・フロー:	
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	11,100
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 375,147
他会計からの出資による収入	332,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 32,041
IV 資金増加(減少)額	△ 151,593
V 資金期首残高	1,130,717
VI 資金期末残高	979,124

令和3年度 下呂市水道事業予定貸借対照表
(令和4年3月31日)

単位:千円

	資産の部			
1. 固 定 資 産				
(1)有形固定資産				
イ 土地		506,336		
ロ 建物	576,193			
減価償却累計額	<u>△ 148,749</u>	427,444		
ハ 構築物	11,822,802			
減価償却累計額	<u>△ 3,015,648</u>	8,807,154		
ニ 機械及び装置	2,330,154			
減価償却累計額	<u>△ 1,231,230</u>	1,098,924		
ホ 車両運搬具	5,656			
減価償却累計額	<u>△ 5,373</u>	283		
ヘ 工具器具及び備品	49,566			
減価償却累計額	<u>△ 15,311</u>	34,255		
ト 建設仮勘定		<u>3,026</u>		
有形固定資産合計			10,877,422	
(2)無形固定資産				
イ 電 話 加 入 権		<u>41</u>		
無形固定資産合計			<u>41</u>	
(3)投資その他の資産				
イ 基 金		0		
投資その他の資産合計			<u>0</u>	
固 定 資 産 合 計				10,877,463
2. 流 動 資 産				
(1)現 金 預 金			979,124	
(2)未 収 金			47,222	
貸倒引当金			<u>△ 3,251</u>	
(3)貯 蔵 品			9,991	
(4)前 払 金			25,200	
(5)その他流動資産			<u>5,000</u>	
流 動 資 産 合 計				<u>1,063,286</u>
資 産 合 計				<u><u>11,940,749</u></u>

負債の部

3. 固 定 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		2,924,562	
固定負債合計			2,924,562
4. 流 動 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		364,937	
(2) 未 払 金		90,899	
(3) 引 当 金			
イ 賞与引当金		4,915	
ロ 法定福利引当金		952	
(4) その他流動負債		5,000	
流動負債合計			466,703
5. 繰 延 収 益			
(1) 長期前受金			
イ 国庫補助金	805,905		
ロ 工事負担金	854,306		
ハ 受贈財産評価額	893,530		
ニ 県補助金	1,996,858		
長期前受金合計		4,550,599	
(2) 長期前受金収益化累計額			
イ 国庫補助金	△ 281,116		
ロ 工事負担金	△ 288,249		
ハ 受贈財産評価額	△ 141,106		
ニ 県補助金	△ 274,645		
長期前受金収益化累計額合計		△ 985,116	
繰延収益合計			3,565,483
負債合計			6,956,748

資本の部

6. 資 本 金			5,734,241
7. 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受贈財産評価額	14,808		
資本剰余金合計		14,808	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 減 債 積 立 金	80,686		
ロ 建設改良積立金	52,561		
ハ その他積立金	0		
ニ 当年度未処分利益剰余金	△ 898,295		
利益剰余金合計		△ 765,048	
剰 余 金 合 計			△ 750,240
資 本 合 計			4,984,001
負債資本合計			11,940,749

令和3年度 下呂市水道事業会計に関する注記表

●重要な会計方針に係る事項に関する注記

1.固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産

定額法を採用している。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおり。

建物 16～60年

構築物 5～60年

機械及び装置 6～20年

車両及び運搬具 4～5年

工具器具及び備品 5～15年

(2)無形固定資産

定額法を採用している。

2.重要なリース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3.引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権等については個別に回収の可能性を勘案し、回収不能見込み額を計上している。

(2)退職給付引当金

岐阜県市町村職員退職手当組合に支払う負担金については、毎事業年度支払う一定の負担金(一般負担金)のみを公営企業が負担しており、積立金の不足等に応じて発生する追加的な費用負担(収支差額の調整のために支払う負担金、組合脱退時の清算金等を含む)をすべて一般会計が負担することとしているため、退職給付引当金は計上していない。

(3)賞与引当金、法定福利費引当金

職員の期末手当・勤勉手当、及びそれらに係る共済費の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

4.消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

●予定貸借対照表に関する注記

貸借対照表に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は1,271,977千円である。

●セグメント情報に関する注記

1. 下呂市水道事業では、水道事業及び簡易水道事業を運営していることから、水道事業及び簡易水道事業の2つを報告セグメントとしている。
各報告セグメントの事業の内容は以下のとおりである。

セグメント区分	事業の内容
水道事業	簡易水道事業以外の地区において水道水を供給する業務
簡易水道事業	萩原、小坂、下呂(一部)、金山、馬瀬地区の各地域において水道水を供給する業務

2. 報告セグメントごとの営業収益等

当年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 千円)

	水道事業	簡易水道事業	合 計
営業収益	202,748	387,573	590,321
営業費用	280,010	849,427	1,129,437
営業損益	△ 77,262	△ 461,854	△ 539,116
経常損益	△ 69,046	△ 272,907	△ 341,953
セグメント資産	3,489,423	8,451,326	11,940,749
セグメント負債	1,074,776	5,881,972	6,956,748
その他の項目			
他会計繰入金	-	332,006	332,006
減価償却費	135,261	475,865	611,126
特別損失	-	-	0
固定資産増加額	89,548	97,704	187,252

●その他の注記

1. 賞与引当金の目的使用による取崩について

当事業年度において、夏季分の期末手当・勤勉手当及びそれに伴う法定福利費として8,862千円を支給するため、賞与引当金4,928千円、法定福利費引当金955千円を取り崩す。

令和3年度下呂市水道事業会計補正予算実施計画明細書

収益的收入及び支出

支 出						(単位:千円)		
款	項	目	既決予算額	補正予定額	計	勘定科目説明		
						節	金額	附 記
1	水道事業費用		1,241,209 (43,310)	6,046 (549)	1,247,255 (43,859)			
	1	営 業 費 用	1,167,250 (43,310)	6,046 (549)	1,173,296 (43,859)			
		1 原水及び浄水費	260,827 (23,547)	6,046 (549)	266,873 (24,096)	委 託 料	6,046	施設業務委託料(簡易水道) 6,046 増

()内は仮払消費税

令和3年度下呂市水道事業会計補正予算実施計画明細書

資本的收入及び支出

収 入		(単位:千円)					
款	項	目	既決予算額	補正予定額	計	勘定科目説明	
						節	金額 附 記
1	資本的收入		359,042 (409)	4,677 (0)	363,719 (409)		
	2	負 担 金	343,762 (29)	1,000 (0)	344,762 (29)		
		1 負 担 金	343,762 (29)	1,000 (0)	344,762 (29)	負 担 金	1,000 宮田簡水水口橋水管橋架替補償増額分 1,000 増
	4	補 助 金	0 (0)	3,677 (0)	3,677 (0)		
		2 県費補助金	0 (0)	3,677 (0)	3,677 (0)	県 費 補 助 金	3,677 門坂簡水災害復旧補助金 3,677 増

()内は仮受消費税

支 出		(単位:千円)					
款	項	目	既決予算額	補正予定額	計	勘定科目説明	
						節	金額 附 記
1	資本的支出		570,546 (17,748)	10,561 (960)	581,107 (18,708)		
	1	建設改良費	195,399 (17,748)	10,561 (960)	205,960 (18,708)		
		1 改 良 費	194,749 (17,703)	10,561 (960)	205,310 (18,663)	工 事 請 負 費	10,561 施設整備工事(簡易水道) 10,561 増

()内は仮払消費税

